

第 25 期・第 2 回地球惑星科学委員会 IGU 分科会 IAG 小委員会議事録

日時：令和 4 年 3 月 29 日（火）10：00～11：45

会場：委員長宅（zoom によるオンライン会議）

出席者（敬称略・名簿順）：春山成子，小口 高，久保純子，齋藤文紀，鈴木康弘，長谷部徳子，岩橋純子，小口千明，柏谷健二，片岡香子，熊木洋太，倉茂好匡，小玉芳敬，島津 弘，羽田麻美，早川裕弐，松倉公憲，目代邦康，藁谷哲也：計 19 名

欠席者（敬称略）：若狭 幸：計 1 名

*要出席委員総数 20 名のうち 19 名の出席により会議は成立した。

資料：

1. 地球惑星科学委員会 IGU 分科会 IAG 小委員会名簿
2. Minutes of the 7th IAG Executive Committee Meeting
3. International Union of Geological Sciences 2021 Report
4. 10th IAG International Conference on Geomorphology
5. IAG Webinar E/SE Asia & Oceania
6. Upcoming IAG Events
7. Nomination Procedure for Elected Members of the IAG Executive Committee
8. Fellowships and Awards Bylaw

議事：

(1) 小委員会の定員について

定員を現在の 20 名から 25 名へ増やすことが承認された。

(2) IAG の動静について

小口委員長より，2021 年 11 月開催の IAG 執行部会議議事録および 2022 年 3 月開催の国別代表者会議（小口委員長と小玉委員が参加）の内容に基づき，次の通り報告がなされた。

- ・ドイツにおいて地形学の新規学会設立の動きがある。
- ・IAG 加盟国について，バングラデシュとイラクに加え，フィリピン，チリが最近認定された。
- ・IAG の内規において，ジェンダーなどの多様性に関する内容が明記される予定である。
- ・Geomorphology ウィークの一環として，2022 年 3 月 2 日にアジア・オセアニア地域のウェビナーが開催された（コーディネーターとして小口委員長が参加，日本からは 1 件の発表）。
- ・延期となっていたコインブラでの本大会が 2022 年 9 月 12～16 日に開催予定である。セッションでは，久保委員が Applied Geomorphology，小口千明委員が Weathering, Soils and

Landforms のコンビーナーを担当。

- ・2020 年開催予定であったイランでの地域大会については、コインブラ大会の後へ延期することになり、その検討は次期の執行部が行うことが決定した。

- ・2024 年の地域大会と 2026 年の本大会の開催国招致については、現在約 5 か国から立候補の可能性はある。

- ・IUGS の International Commission on Geoheritage の活動について、IAG が Geosites Committee を組織し、保存すべき地形・地質の認定などの活動を進めている。この件について齋藤委員より、国内のジオサイト候補地については 3 箇所の割当が来ており、現在選考が進められている旨の追加説明がなされた。

- ・2022 年度に限り IAG は会費を徴収しないことが決まったため、日本の会費負担はなくなった。

- ・IAG Executive Committee の選挙（コインブラ大会にて投票）について、日本からの候補者の確認をおこなった。

(3) 今後の対応について

- ・2024 年の地域大会と 2026 年の本大会の開催国招致は、2001 年の日本大会以降、新規招致国が選ばれていることから、今回は日本の招致活動は行わない。また、倉茂委員からは他国と連携した招致活動の可能性について意見が出された。柏谷委員からは、2022 年秋に開催される JGU 国際シンポジウムを Thematic Conference として実施する案が出された。審議の結果、本シンポジウムについては少なくとも IAG のサポートを得る形とし、Thematic Conference としての開催可否については、小口委員長から IAG 執行部へ確認を進めることが承認された。

→2022 年の JGU 国際シンポジウムは、北海道大学にて 11 月 5～6 日あるいは 12～13 日に開催予定である旨、早川委員と目代委員より説明があった。また、小口委員長と目代委員より 2022 年 5 月の連合大会にてプレセッションを開催予定であることが説明された。

- ・コインブラ大会での各種表彰について説明があり、日本からは Early Career Medal（学位取得後 10 年以内の若手対象）への推薦を検討していくことが承認された。候補者については継続審議とし、メール会議にて検討を進める。

(4) その他（追加議題）

- ・小口委員長よりアジアでの IAG 未加盟国について説明があり、各国の地形学者について情報共有を進めていくことを確認した。

- ・柏谷委員より、2022 年秋に延期予定の東アジア国際ワークショップ昆明大会については現時点で詳細が決定しておらず、引き続き状況確認を行う旨説明がなされた。また齋藤委員より、昆明大会の後は島根大学で開催予定である旨、情報提供があった。